

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2013年第15号(週報・月報合併号)

2013年第15週(4月8日~4月14日)、月報3月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

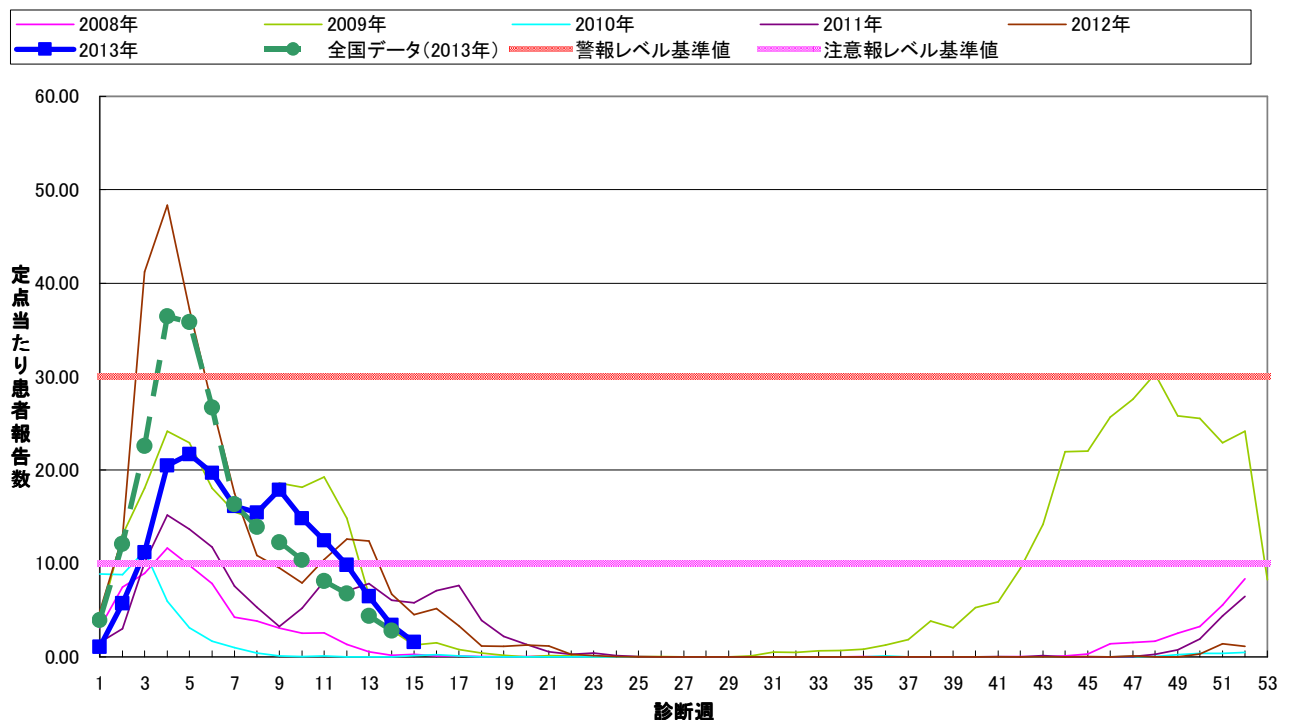
— インフルエンザ : 県全体の患者報告数は減少 —

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は1.60人(前週:3.40人)と第10週以降減少しています。海南保健所管内で患者報告数が増加していますが、その他の保健所管内では減少しています。

全国の第14週の定点当たり患者報告数は2.80人(第13週:4.38人)と第5週以降減少が続いています。

減少傾向は続いているものの、県内では若干ですがまだ学級閉鎖等の措置がとられている学校もあるため、もうしばらく注意が必要です。感染を予防するために、うがい・手洗いの励行や、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。また、バランスのよい食事、十分な睡眠をとる等、普段から健康管理に努めることも大切です。

インフルエンザ(和歌山県全体)



◆◆ これから注意が必要な感染症 ◆◆

一 風しん : 首都圏及び近畿地方での患者報告数が急増 一

風しんは、風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、流行は春先から初夏にかけて多くみられます。潜伏期間は2～3週間で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められます。妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児がウイルスに感染し、先天性風しん症候群がおこる可能性があります。

風しん及び先天性風しん症候群についてはこちら：国立感染症研究所HP（風しんQ&A）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

国立感染症研究所感染症疫学センターの感染症発生動向調査（2013年4月10日現在）によると、患者の7割以上は男性で、うち20代～40代が8割以上を占めています。特に首都圏と近畿地方の報告数が多くなっています。

和歌山県では、2012年における累積患者数は10人でしたが、今年は第15週までの累積患者数が7人となっています。

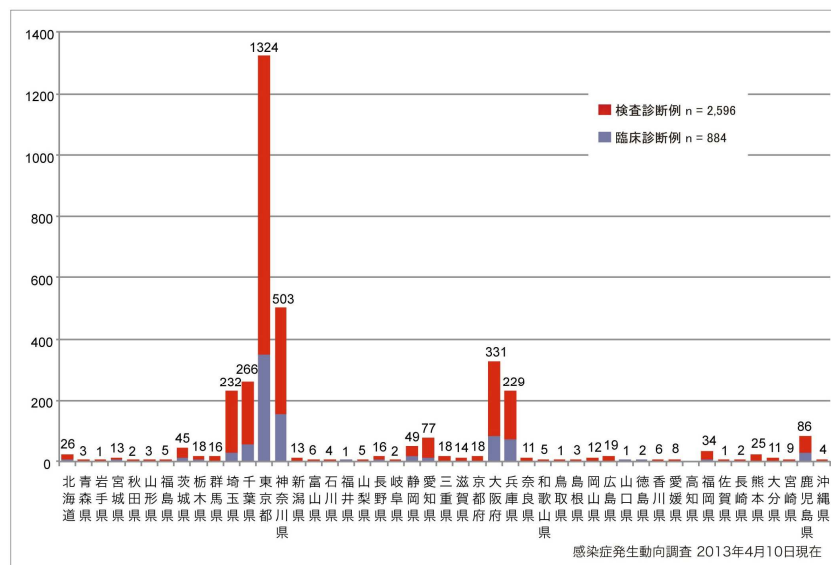


図1 都道府県別風しん累積報告数（2013年第1～14週）

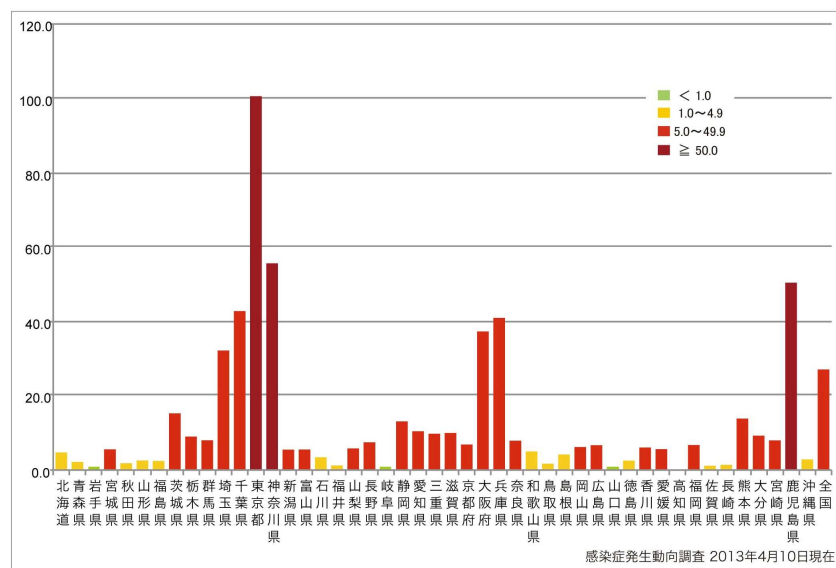


図2 都道府県別人口100万人あたり風しん報告数（2013年第1～14週）

※グラフは国立感染症研究所HPより引用

妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、妊婦の周りにいる方(妊婦の夫、子ども、その他の同居家族等)は、風しんを発症しないように予防することが重要となります。

【予防のポイント】

- ・風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう。
1歳児及び、小学校入学前1年間の幼児は、多くの市区町村において、無料で受けられます。
- ・下記の(1)～(3)のうち、抗体価が十分であると確認できた方以外の方は任意での予防接種を受けることをご検討ください。
 - (1) 妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
 - (2) 10代後半から40代の女性（特に、妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方）
 - (3) 産褥早期の女性

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：結核 9名
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：報告はありませんでした。
- 5類感染症：風しん 2名

2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	100
腸管出血性大腸菌感染症	1
つつが虫病	7
デング熱	1
レジオネラ症	1
アメーバ赤痢	2
ウイルス性肝炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	3
後天性免疫不全症候群	5
梅毒	1
風しん	7

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

急性出血性結膜炎（田辺保健所管内）

注意報レベル

ありません。

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	28	2	17	8	5	7	7	6	-
	定当	1.87	0.67	2.83	1.33	1	2.33	1	2	-
RSウイルス感染症	報告	3	1	1	-	-	-	2	-	-
	定当	0.33	0.5	0.25	-	-	-	0.5	-	-
咽頭結膜熱	報告	-	-	3	-	-	1	-	-	-
	定当	-	-	0.75	-	-	0.5	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	11	-	2	-	2	3	1	-	-
	定当	1.22	-	0.5	-	0.67	1.5	0.25	-	-
感染性胃腸炎	報告	35	18	18	4	9	1	3	1	-
	定当	3.89	9	4.5	1	3	0.5	0.75	0.5	-
水痘	報告	11	3	6	5	-	7	11	1	-
	定当	1.22	1.5	1.5	1.25	-	3.5	2.75	0.5	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	6	-	3	1	2	-	3	-	-
	定当	0.67	-	0.75	0.25	0.67	-	0.75	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	1	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	1	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	1	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	1	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	0.5	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	1	…	-	-	-	-	5	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	2.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

◆ 5類定点把握感染症(月報)について ◆◆

<STD感染症の動向>

3月の定点当たり患者報告数は、男性では性器クラミジア感染症及び性器ヘルペスウイルス感染症が0.88人となっています。女性では性器クラミジア感染症が0.88人となっています。

【3月の性別・年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

(男女合計)		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
性器クラミジア感染症	報告	14	-	-	-	-	-	6	2	2	2	1	1	-	-	-	-	-
	定当	1.75	-	-	-	-	-	0.75	0.25	0.25	0.25	0.13	0.13	-	-	-	-	-
性器ヘルペスウイルス感染症	報告	8	-	-	-	-	1	2	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-
	定当	1	-	-	-	-	0.13	0.25	-	-	0.25	0.13	0.25	-	-	-	-	-
尖圭コンジローマ	報告	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-
	定当	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	0.13	0.13	-	-	0.13	-	-	-
淋菌感染症	報告	4	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.5	-	-	-	-	-	0.13	-	0.13	0.13	0.13	-	-	-	-	-	-

(男性)		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
性器クラミジア感染症	報告	7	-	-	-	-	-	2	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-
	定当	0.88	-	-	-	-	-	0.25	0.25	0.13	-	0.13	0.13	-	-	-	-	-
性器ヘルペスウイルス感染症	報告	7	-	-	-	-	-	2	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-
	定当	0.88	-	-	-	-	-	0.25	-	-	0.25	0.13	0.25	-	-	-	-	-
尖圭コンジローマ	報告	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-
	定当	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	0.13	0.13	-	-	0.13	-	-	-
淋菌感染症	報告	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.38	-	-	-	-	-	0.13	-	0.13	-	0.13	-	-	-	-	-	-

(女性)		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
性器クラミジア感染症	報告	7	-	-	-	-	-	4	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.88	-	-	-	-	-	0.5	-	0.13	0.25	-	-	-	-	-	-	-
性器ヘルペスウイルス感染症	報告	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
尖圭コンジローマ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
淋菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-

＜院内感染症の動向＞

3月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が3.27人となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約72%となっています。

【3月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	36	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	5	-	26
	定当	3.27	-	-	0.09	-	-	-	0.18	-	-	-	-	0.18	-	0.45	-	2.36
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報（WIDR）2013年第15号

発行日：平成25年4月18日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。